

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の推移】 ※…現地通貨ベース

		終値	9月9日比
インド	S&P・BSE500種指数	11,947.61	-0.21%
スリランカ	スリランカ コロンボ 全株指数	6,479.21	-0.24%
パキスタン	カラチ 全株指数	27,153.96	-0.19%
バングラデシュ	ダッカ総合株価指数	4,665.35	1.40%

(出所：ブルームバーグ)

【為替(対円)の推移】

		終値	9月9日比
インド	インドルピー	1.5150	-1.50%
スリランカ	スリランカルピー	0.6905	-2.51%
パキスタン	パキスタンルピー	0.9630	-2.23%
バングラデシュ	バングラデシュタカ	1.2897	-1.63%

(出所：ブルームバーグ)

【各国の市況・トピックス】

【インド：追加緩和への期待高まる】

インド株式市場は、日米欧中央銀行の金融政策決定というイベントを通過する中、神経質な動きを見せながらも底堅く推移しました。8日の欧州中央銀行(ECB)定例理事会後に、ドラギ総裁が当面は追加緩和の必要がないと発言したことを受け、世界的に金利が上昇、インドをはじめとするアジア株式市場からは資金流出が見られました。しかし、21日には、日銀が緩和政策の長期化を示唆し、米連邦準備制度理事会(FRB)が政策金利の長期見通しを引き下げたことで、買い安心感が拡がり、相場は急反発しました。なお、12日に発表された8月の消費者物価指数は前年比+5.05%と、7月(同+6.07%)から伸び率が鈍化しました。最も寄与率が高かった食品価格の低下傾向は今後も続く見通しであり、10月4日に開催される次回中銀会合では追加利下げが期待されています。

【スリランカ：4-6月期GDP2.6%増、市場予想を下回る】

15日、スリランカ統計局は4-6月期実質GDP成長率が前年同期比+2.6%にとどまり、1-3月期(同+5.2%)から大幅に減速したと発表しました。5月に発生したサイクロン「ロアヌ」などの影響によって農業が▲5.6%と落ち込んだほか、鉱工業も振るいませんでした。一方、主要産業であり、GDPの6割弱を占めるサービスセクターは通信・金融・小売業などが牽引し+4.9%と健闘しました。財政支出の削減や利上げの影響で、当面は緩やかなペースでの景気拡大が続くとの見方が多いようです。

【パキスタン：金利据え置き、経済の活性化を優先】

パキスタン国立銀行(中央銀行)は24日に金融政策決定会合を開き、政策金利の現状維持を決定しました。声明文では、インフレ率や消費関連指標は上昇傾向にあるものの、世界経済の先行きが不透明なため、緩和的な金融政策で景気を支えするとしています。

シャリフ首相は第71回国連総会の開催地ニューヨークで安倍首相と会談し、テロ対策や治安維持、内戦の平和的解決を目指し、日本とより一層緊密な関係を築いていく考えで一致しました。

【バングラデシュ：国連総会で首相が政策をアピール】

シェイク・ハシナ首相がニューヨークで開催された第71回国連総会に出席し、一般討論演説でテロ撲滅に向けた強い意思を表明しました。また、貧困の撲滅や国際平和の実現などに取り組む「持続可能な開発目標：2030アジェンダ」に関しては、社会保障制度の拡充に努めているとアピールしました。国連総会に出席するかたわら、自国へ投資する在米企業を訪問し、友好関係の強化にも努めたもようです。

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みには、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

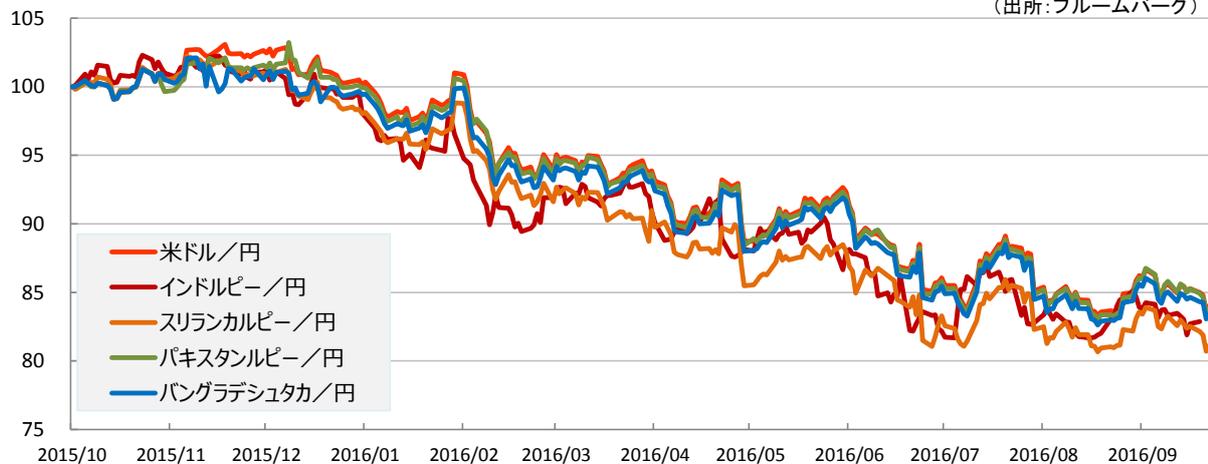
【株価指数の値動き】〔期間：2015年10月1日～2016年9月23日、現地通貨ベース〕

(出所：ブルームバーグ)



【為替の値動き】〔期間：2015年10月1日(基準日)～2016年9月23日、基準日を100として指数化〕

(出所：ブルームバーグ)



当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

南アジア4カ国 マーケットレポート

投資信託の主なリスク

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、為替の変動等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、投資市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

お客様にご負担いただく主な費用

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用……申込手数料 上限3.78% (税抜き3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用……信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……信託報酬 上限2.376% (税抜き2.20%)
 - ※一部のファンドについては、運用成果等に応じて実績報酬をご負担頂く場合があります。
 - ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、ファンドの投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
- その他費用……上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
当該費用は運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記に記載しているリスクや費用項目は一般的な投資信託を想定しています。

費用の料率につきましては当社が運用するすべての投資信託のうち最高の料率を記載しています。手数料の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。投資信託に係るリスクや費用は、各投資信託により異なりますので、ご投資に当たっては、目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。



アストマックス投信投資顧問株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア5階

商号等： アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 / 日本商品投資顧問業協会

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。